



# ŌMIYA NEWS



No. 155 2023年3月2日 JR東労組大宮地本

## 『公正・公平な過半数代表者選の実施と、安心して働ける職場の構築を求める緊急申し入れ』を行う！

2月21日に小山新幹線車両センターで行われた過半数代表者選で、投票用紙にナンバリングされていたことが発覚した件について、本部は幹本申第8号で本日、緊急申し入れを行いました。

公正・公平に事業所の労働者過半数代表者を決定するにあたり、使用者側の意図・関与があればその選挙は無効です。そして何よりも、いまだにこのようなことを行っている会社に怒りしかありません！このことは『会社の体質』がそうさせているのだと確信します。私たちは、このことが一職場の問題ではないということを改めて認識一致し、そしてコンプライアンス違反・不正行為・不当労働行為を絶対に許さない体制を構築し、たたかい抜いていきます！

J R 東 労 組 幹 本 申 第 8 号  
2 0 2 3 年 3 月 2 日

東日本旅客鉄道株式会社  
常務執行役員  
新幹線統括本部長 池田 裕彦 殿

東日本旅客鉄道労働組合  
中央執行委員長 佐藤 英 樹



### 【申し入れ項目】

1. 今回小山新幹線車両センターにおいて、投票用紙にナンバリングを行い実施した経緯と目的を明らかにすること。
2. 再発防止に向けて全職場周知と指導を徹底し、公正・公平な過半数代表選挙の実施と安心して働ける職場を構築すること。

公正・公平な過半数代表選の実施と、安心して働ける職場の構築を求める緊急申し入れ

J R 東 労 組 は、職場において連続して発生している事故・事象や、会社より示される業務執行体制の見直しやダイヤ改正に向けて、職場現実を踏まえ真摯に向き合ってきています。また、2月16日には幹本申6号「小山新幹線車両センター業務執行体制の見直しについて」に関する申し入れ団体交渉を行い、職場の変化への対応に対しても向き合い議論しています。そのような中、先日小山新幹線車両センターにおける過半数代表選挙において不信や疑念の声が上げられ、繰り返し是正を求め議論してきたにも関わらず、使用者が関与している異常な実態と言わざるを得ない事象が発生していることを看過することはできません。

したがって、今回発生した事象の経緯や目的を明らかにし、再発防止に向けて全職場周知と指導の徹底のもと、公正・公平な過半数代表選挙を実施し、安心して働ける職場の構築を求め、下記のとおり緊急に申し入れますので、速やかに団体交渉を開催し、会社側の真摯な回答を要請します。

記

1. 今回小山新幹線車両センターにおいて、投票用紙にナンバリングを行い実施した経緯と目的を明らかにすること。
2. 再発防止に向けて全職場周知と指導を徹底し、公正・公平な過半数代表選挙の実施と安心して働ける職場を構築すること。

ふざけるな!!  
いい加減にしろ!!



## 不正行為を許さず風通しの良い職場を創り出そう!!